



四日市市立西朝明中学校

令和2年度第13号

12月1日(火)

にしあさけ

2学期の期末テストが終わり、今週は頑張って勉強してきたことが数字(点数)となって返ってきます。前号でも書きましたが、この数字(点数)は人と比べるものではありません。数字(点数)については、「これまでの取り組みに対してどうであったか」を振り返り、「中学校卒業後の進路目標をかなえるには、どのような学習を進めていけばよいのか」、まだ進路目標がはっきりと持っていない場合は、「今の学習や生活の状況から中学校卒業後の進路目標をどんなところに置けばよいのか、そのためにどうしていくとよいのか」など、担任の先生との教育相談や三者懇談会で話し合ってください。

P(計画)→D(実行)→C(評価)→A(改善)の4段階を繰り返すことで業務を改善し、仕事をスムーズに進めようとする手法があります。テストは目標に向けてのP(計画)→D(実行)に対するC(評価)であり、次のA(改善)のためのものです。このサイクルを回して成長していきましょう。

ボランティア活動に参加して社会とのつながりを感じよう！

これまで西朝明中学校では、地域団体及や関係機関のご指導・ご支援による防災学習「防災@にしあさけ」、高齢者を詐欺などの犯罪から守る啓発活動や自転車盗難防止活動を地域へ発信する「防犯@西朝明」をはじめ、下野地区・八郷西地区のフェスタ・敬老会・文化祭・人権講演会など、様々な地域行事への出演や準備・片付け、運営補助等のお手伝いを生徒会役員・有志・部活動など様々な形で、地域と連携した取り組みやボランティアとしての参加を進めてきました。しかし、今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症予防のため多くの地域行事が中止になり、地域のみなさんと一緒に活動する機会をもつことができませんでした。

地域のみなさんと一緒に活動する機会は、学校の教室では得られない様々な知恵や新たな視点を学ぶことができる良い機会であると思います。機会を見つけてボランティア活動に参加し、社会とつながり、誰もがよりよい人生を送ることができる地域や社会をつくるために自分の「できること」を見つけて欲しいと思います。

3年生の修学旅行で平和講話をしてくださった大越さん(広島県原爆被害者団体協議会事務局)の「中学生は有権者ではないが、主権者である」という言葉が印象に残っています。中学生も「主権者」として、よりよい学校生活をつくることはもちろん、地域や社会をつくるために意思表示や行動することができるのです。部活動が休みの日や受験勉強のリフレッシュに、身近な地域の活動に参加してみてください。普段見慣れた自分の住んでいる町、毎日通る道路にも違った景色や新たな気づきが見つかるかもしれません。

下野地区「朝明川クリーン作戦」・八郷西地区「クリーンアップ八郷」

12月6日(日)に各地区で実施される地域清掃活動に参加してみてください。参加したみなさんは、キャリア・パスポートに記録してください。年度末には、通知表の「特別活動等の記録」に記載していきたいと思います。

なお、生徒会本部役員と野球部・芸術部は、生徒会活動・部活動として参加します。

朝明川堤防道路へのサイン看板設置

朝明川堤防は、地域のみなさんの散策の場所としても親しまれています。上流：下野橋～下流：新小角橋までの区間で、六丁橋を起点とした距離を示すサイン看板を設置する取り組みがあり、サイン看板のデザインを募集中です。西朝明中学校の通学路でもあり、通学にも地域のみなさんの散策にも、楽しめるようなサイン看板を考えてみましょう。

里山整備ボランティア

11月15日(日)は、生徒会本部役員6名が「鶯谷 竹のひろ場」の整備作業にボランティアとして参加しました。

「鶯谷 竹のひろ場」は、地域住民の皆さんが自らの手で、散歩ができ憩える緑地を整備していただいています。この日は、三重トヨペット様の「ふれあいグリーンキャンペーン」でもあり、一緒に作業をさせていただきました。

毎月第3日曜日に行われる作業に参加できます。



古本回収

11月12日(木)、11月13日(金)には、文化委員会による古本回収が行われ、225冊の本が集まりました。集まった本は、NPO法人「全国青年後見の会」を通して、全国の児童養護施設などに送られ、子どもたちの読書や学習のために使っていただく予定です。ご協力ありがとうございました。



上記の2つの活動では、「憩いの場をつくり、誰もが住み心地のよいまちにしようという地域のみなさん」、「持続可能な社会づくりに向け、環境保護に貢献しようとする企業」、「社会的な援助を必要とする人々の生活をサポートしているNPO」とつながることができました。

ボランティアとしてこのような活動に関わることで、よりよい社会をつくろうとしている活動を知ることや、みなさんの思いや願いに触れることができます。このような体験により、社会的な視野が広がり、人間としての成長につながっていくものと考えています。

ピンクシャツキャンペーン

11月は、いじめ防止強化月間でした。生徒会では11日(水)から13日(金)までピンクシャツキャンペーンを行いました。市教育委員会からいただいたピンクのこにゅうどうくんのぼり旗を掲げて「おはようございます」の声をかけ、気持ちのよい挨拶が飛び交う学校の雰囲気づくりに取り組みました。



「気づいてる? 見て見ぬふりもいじめだよ」との標語が書かれたのぼり旗は、生徒玄関に掲げてあります。いじめのない、だれもが安心して過ごせる、居心地のよい学校にしていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応について

○オンライン学習の体制について

全国的に新型コロナウイルス感染者が急増している状況の中、文部科学大臣は、「今後緊急事態宣言が出されたとしても、全国の学校に対して一斉の休校要請はしない」と表明されました。ただ、生徒本人や同居家族の方が感染者や濃厚接触者となった場合、出席停止の4日目以降はオンラインでの健康観察及び学習のサポートを行うよう市教育委員会から指示を受けています。11月9日、10日には、学年ごとにZoomの操作のテストを行い、学校と家庭での双方向のやり取りができることを確認しました。なお、インターネット環境が十分でないご家庭には、学校に配備されたタブレットを貸し出すことで対応します。また、WiFiルーターについては、市教育委員会が貸し出しできるよう準備をしており、今後学校とすべてのご家庭がつながる体制が整えられる予定です。

○PCR検査を受けられた場合、濃厚接触者となった場合の対応について

市内でもPCR検査を受ける方が増えてきているようです。生徒本人だけでなく、同居のご家族がPCR検査を受けられた場合、濃厚接触者となった場合は、学校までご連絡をお願いするとともに、生徒の自宅待機についてのご理解とご協力をお願いします。